

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	228	学校名	仙台市立蒲町中学校	校長名	飯淵 優
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル

「地域との関わりを進め，SDGs への理解を深める」



2 取組の紹介

- ① 今年度もアルカス委員の生徒を中心に全学年にボランティアを募り，春と秋に花植えを行いました。植え方については各学年で生徒たちが考え，花の特性に合わせて素敵な配色で花壇を彩りました。特別支援学級の生徒たちにも協力してもらい，本校が担当する地域の花壇に花植えと管理をすることで，地域の方々と触れ合う良い機会にもなりました。
- ② 本校では，春と秋の年2回，小中連携で季節の花苗を購入し同時期に花植えを行っています。小中の教員間で花の植え方や維持の仕方など情報交換を行うこともありました。昨年度は，緑化団体の方々から緑化活動で工夫や努力をしていることや，花の生育方法などについてアドバイスをいただく機会があり，大変勉強になりました。来年度は，よりたくさんの生徒や地域の方と関わられるような花壇になるにはどうしたらよいか，また，どのような工夫をしていくことで緑化活動が発展していくのかなどについてボランティアの生徒たちと考えていきたいと思えます。



3 取組の成果（生徒の変容）

毎年，春と秋に行っている，アルカス委員を中心とした花植えのボランティアに参加する生徒が1，2年生を中心に年々増えたことから，ボランティアに対する関心がさらに高まっているように感じています。本校の技師のアドバイスで追肥をしたり，チューリップの球根を保管して植えたりするなど花の特性にも興味を示しながら，配色や配置を生徒同士で話し合いながら取り組む姿が多く見られました。

SDGs のロゴマークの内容や具体的な活動に関して理解がまだまだ十分だとは言いえない状況ではありましたが，諸活動や授業で関連する内容を学習することで，関心が高まってきたように感じます。前述の緑化活動のみならず他の領域とも連携して学習内容を工夫することにより，生徒一人ひとりがSDGs についての認識や理解がもっと広まるように，今後も活動を継続していきたいと考えています。